



1 町内のイベントで開催している「組み木づくり体験」では、子どもたちを中心に多くの参加者で賑わいます。2 丸みをおびた組み木はとてもユニーク。作品一つひとつに表情があります。3 組み木作成に使用する糸のこ。作品によって刃の厚さを使い分けます。4 太田さんお気に入りの作品。MDケースの中に「古代くん」がはめ込まれています。

第19回全国 **組み木** フェスティバル2015 in 福岡・桂川

九州
初開催

【日時】9月26日(土)、27日(日) 10時～16時
28日(月) 10時～15時

【場所】住民センター

【内容】○組み木作り体験(300円)

○小黒三郎氏によるパフォーマンス

○「古代・古墳」をテーマとした作品展示

○遊びのコーナー ○組み木作品の販売

【問合先】組み木創作の会(町立図書館内) ☎65・4946



■組み木の魅力を多くのの人に

組み木工房「でんでんむし」という名称には、「ぼちぼちやろうという気持ち」と「組み木を切り抜くときのゆっくりにした動作」という二つの意味が込められています。工房には、組み木の魅力に惹かれた人々が訪れ、組み木づくりに励んでいます。

最近では、町内イベントでの組み木づくり体験教室や桂川中学校美術部での指導など、組み木の魅力を多くの人にアピールする活動を行っています。

そして、太田さんの働きかけにより、9月26日から28日にかけて、九州では初となる「第19回全国組み木フェスティバル2015 in 福岡・桂川」が、桂川町で開催されます。

「桂川町で開催されることはとても嬉しい。これを機に、桂川町はもちろん、全国的にももっと組み木の知名度が上がってくれば」と太田さんは目を輝かせます。

*

組み木を手にとったときに感じる木の質感とぬくもりは、実際に触ってみなければわかりません。作る側と使う側、組み木を通して重なる感動を、ぜひ体感してください。